



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/> mail@ken-nonoyama.com

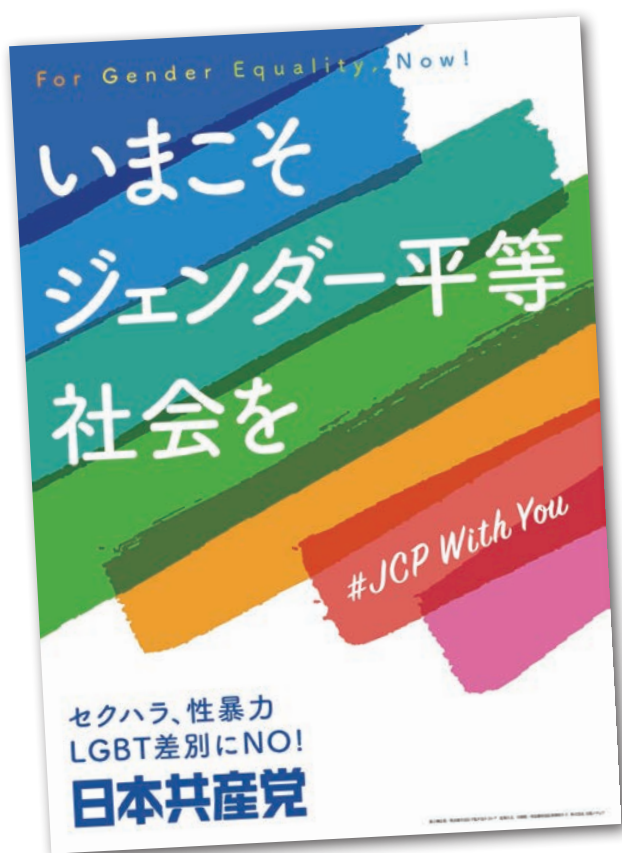
No.520 2019.6.5

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

差別や分断をなくし、誰もが尊厳をもって 自分らしく生きられる社会を



日本共産党は5日、「政治分野における男女共同参画法」施行後初めての国政選挙となる参院選に向けた政策「個人の尊厳とジェンダー平等のために―差別や分断をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会へ」を発表しました。具体的には5つの政策の柱を掲げ（別

掲）、雇用での差別の是正と被害者救済のために政府から独立し、強い権限を持つ救済機関の設置を提案。また、強制性交等罪の「暴力・脅迫要件」の撤廃と同意要件の新設、ハラースメント禁止を明確にした法整備、同性婚を認める民法改正などをめざすとしています。

日本共産党が提案する5つの政策

- ① ジェンダー平等社会（性差による差別のない社会）を推進
- ② 性暴力、DV―女性に対する暴力を許さない社会に
- ③ ハラスメントに苦しむ人をなくす
- ④ LGBT/SOGI（性的指向・性自認）に関する差別のない社会をつくる
- ⑤ 国籍や民族の多様性を認め合い、共生する社会を

北区では 男女いきいき推進課にかわり 多様性社会推進課を新設

北区では今年度から、子ども未来部に置かれていた、男女いきいき推進課の事務を、総務部に新設した「多様性社会推進課」に移行しました。新しい課では、男女共同参画や配偶者からの暴力防止対策をはじめ、多様性を認め合う社会の推進などの課題に、包括的に対応するとしています。

人口増加に対応した計画づくりを

北区議会・企画総務委員会での、のの山けん区議の質疑より

4日に開かれた区議会企画総務委員会では、年度初めにあたって、区理事者から事務事業の概要と現況についての説明があり、これを受けての質疑がおこなわれました。私は、人口増加にふさわしく施設を整備することなど、4点について質問しました。(のの山けん)

人口推移について

昨年3月に発表された

北区人口推計調査では、今後20年にわたり北区の人口が増加するとの予測に。質疑では、この1年間の推移も、ほぼ推計調査通りに伸びていることを確認しました。とりわけ、外国人人口は、推計を1200人も上回るなど、伸びが顕著です。

一方、この4月の保育園待機児は、119人に増加しており、今後も子育て施設や学校施設が不足する恐れがあります。

私は、今年度改定される基本計画や経営改革プラン、それにもなう諸計画に、今後の人口増加

に見合った区民施設の充実を盛り込むよう求めました。

職員定数管理計画について

これまで北区では、長期にわたって区の職員を減らし続けてきました。2014年度に策定した職員定数管理計画でも、5年間で71人の職員を削減する計画でしたが、今年4月までには逆に、89人の増加となりました。

昨今、北区では人口が増え、保育園の増設をはじめ、区民ニーズに 대응する区の職務は増大しています。私は、今後の計画については、職員がしっかりと区民のために働け

るよう、定数は削減ではなく、必要に応じて増やしていく計画にするよう求めました。

きずなトークについて

花川区長が、区民の声を聞くとして始めた「まちかどトーク」は、3年前に、区長が町会・自治会の会合に向く「きずなトーク」に変更。私はあらためて、区長が直接区民の声を聞く機会を持つよう求めました。

多様性社会推進課について

新設された多様性社会推進課で、ジェンダー平等や性の多様性に対応するとりくみ、とりわけ同性カップルを公的に認める「パートナーシップ制度」の早期創設を進めるよう求めました。

出水期に備え、北区が水防訓練



1日、荒川河川敷で、北区水防訓練が行われました。消防署や消防団、区職員、町会・自治会のみならず、日頃から続けている訓練の成果を披露しました。風速45メートルの風を起こすブロー車も、初目見え。(のの山けん)